

クリティーだより



令和6年2月9日
栗生小学校
学校運営協議会

活発な意見が飛び交う「読書会」



「二番目の悪者」(林大林 作)という一冊の絵本を題材に、本年度も読書会が開かれました。さすがの6年生、事前にこの本から感じ得たことを自分の言葉で相手に伝え、また、他者の意見を否定することなく、多様な考えに触れることができました。対話を通して感性を耕すことのできる大変有意義な時間となりました。

参加して下さった地域の皆さま、ありがとうございました。

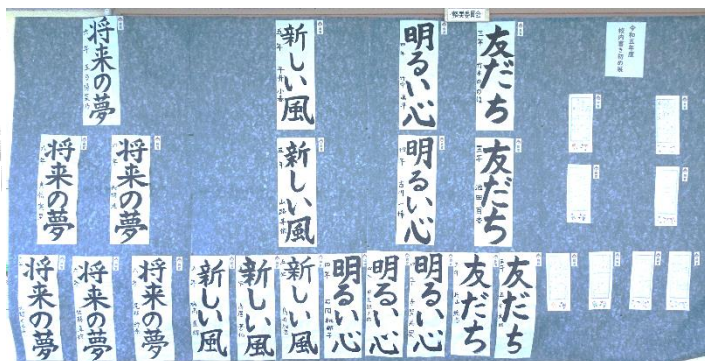
読書会は、自分の意見・感想を伝え合うことで成長でき、楽しいです。自分の考えが相手に伝わり、別の角度からの感想、同じ角度だけれど自分とは違う感想を聞くことができます。自分の意見を主張するだけでなく、別の角度から考えられるようになりたいです。

(六年 児童)

意見交流をする中で、共感する部分や、「確かに」と思う部分、地域の方の反対の目線からの意見によって、自分の考え方がどんどん変わっていききました。

(六年 児童)

校内書き初め展



書き初めは、古くから新年の行事として行われてきました。1年の始まりに新たな気持ちで文字を書くことはとても意味深いものです。いつもより大きな半紙に向かい、姿勢を整え、落ち着いて書くことで、集中力を養うことができます。

今年度も、冬休み前から、書写の講師の児玉先生にご指導いただき、長半紙に「書き初め」の練習をしていました。学校でも家庭でも練習をし、力作が出そろいました。

全員(低学年は硬筆)の作品から、学校運営協議会で一次審査を実施し、児玉先生に最終審査をしていただき、各学年から「金賞」「銀賞」「銅賞」が選ばれました。受賞作品は、児童玄関に掲示をしておりますので、ご覧ください。また、3月にはクルトピアにも掲示を行う予定です。ぜひ、楽しみにされてみてください。